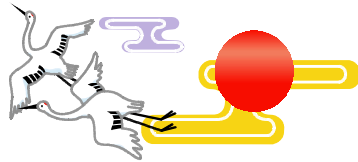




羽生田小学校
平成25年 1月21日
第9号 戸田光枝



教 育 目 標

豊かに学び、共に未来のふるさとを拓く「はにしのこ」の育成
 <徳>みんなと仲良くできる子ども
 <知>よく考えて勉強する子ども
 <体>心も体も強い子ども

新年明けましておめでとうございます

昨年は、本校の教育活動に御理解と御協力、御支援を賜りまして誠にありがとうございました。今年も教職員一同、子どもたちのために誠心誠意努力します。保護者の皆様、地域の皆様よろしくお祈りいたします。

さて、お正月は、家族、親戚、友達、地域の方等で食事を共にし、「今年は〇〇な年にしたい。」というような話に盛り上がったのではないのでしょうか。誰でも今年が良い年にしたいと思うのは当然です。それにはお正月は、年が改まり、心新たに反省し、「夢」をもち直すのに良い機会だと思います。子どもたちも年頭に当たり「自分の夢・目標」をもってくれました。私は、ずっと「夢をもつこと」を折に触れ、話してきました。夢をもつことで、目標ができ、それに向かって努力をするからです。手前味噌になりますが、以前、子どもの学期反省の作文から「やればできるということがわかりました。」という言葉が聞けた時に、「少しずつでも努力することが結果につながっていく」ことをわかってくれたと思いました。その子どもたちを指導している先生方の誠実な働きを御報告したいと思います。常に子どもたちと一緒に考え、良い方向へと導き、頑張る心を育ててくれました。行事等の準備におきましても、職員一丸となって協力し、みんなで羽生田小学校を作るという意識でいます。なんと素晴らしく、頼もしい先生方です。平成25年も「チーム羽生田」で頑張りますのでよろしくお祈りいたします。御協力もよろしくお祈りいたします。

携帯の講話<ネット時代の生き方>

3学期早々(1月9日)に、【携帯電話】について親子で聞いていただきました。講師は、一昨年にもお世話になりました、ロジカルキット代表の下田太一先生です。携帯電話は電話だけでなくいろいろな機能が入り、複雑化しています。その中でも今回は、陥りやすいメールの落とし穴とインターネットをつかった犯罪について分かり易く話してくださいました。



メールでは相手の表情がわかりません。例えば『悲しい』とメールが来ても、顔が見えないので本当かどうかはわかりません。ふざけているのかもしれないのです。また、『相談があるのだけど。』とメールが来ても、大事な相談なのか、くだらない相談なのかは受け取る側で勝手に想像して勘違いが起こります。また、ネットでは、メール



のやりとりで甘い言葉やおいしい話をよい方向に受け止め、根拠もなく人を信用して事件に自分から会いに行くようになるということです。インターネットはだましの世界と思った方が安全に過ごせるようです。

それを防ぐには、人間フィルタリング『みんなで一緒に、居間でパソコンを、家の電話の利用、パソコンでメールを』がよく、どの家庭でも被害に遭わないように目の届くことが大切とのことでした。一度考えていただけましたら有り難く思います。

<親子で真剣に>



1月13日(日)どんど焼き



小正月の前日に行うとされる『どんど焼き』が、羽生田小学校育成会主催で成人式の前日の1月13日(日)に行われました。

育成会長様はじめ会員の皆様、PTAの皆様、羽生田地域の皆様、すけがい保育園の皆様方には、大変御尽力いただきました。心よりお礼申し上げます。風もなく温かな日に恵まれ、火柱が一瞬のうちに高く上がったときの感動は忘れられません。平成25年が羽生田地域と羽生田小学校、すけがい保育園がますます発展することと、関係諸氏の皆様の無病息災と五穀豊穰を祈願いたしました。伝統行事ですので大切にしていきたいと思えます。



<どんど焼き>

給食週間(1/21~25)



学校給食は、戦後昭和24年から始まりました。当時は子どもたちにしっかりとした栄養を与えることが目的でしたが、現在は、食育とも関わり栄養的にも見た目にも、大変豊かな給食になっています。子どもたちが楽しみにしている給食週間ですが、今年度は、日本味めぐり献立です。富山県、栃木県、北海道、新潟県、秋田県の郷土料理や名産品が登場予定です。家庭でも家族団らんの折りに話に出してみてください。



次年度の全校合奏の曲決定 「海猿よりカレッジ」



次年度の全校合奏の曲を決めるために、12月10日に4曲を子どもたちに聞かせました。その中でやってみたい曲で、且つ自分たちで弾ける曲のアンケートを実施しました。投票の結果、「海猿」と「風の谷のナウシカ」がほとんど同数でした。子どもたちの人数と曲の難易度を考えて「海猿よりカレッジ」に決定しました。この曲は、困難に立ち向かっていけるような曲です。曲想を考えながら演奏に励む子どもたちの姿が浮かんできます。

さらに、12月13日には楽器の分担も伝えました。全員が瞳を輝かせて自分のパートを喜びました。楽器発表の時には子どもたちから「やったー」という声が上がりました。この喜びを練習につないでいけるように指導に当たりたいと思えます。1月からリズムと譜読みに入りました。6年生は下級生の面倒を見る形で卒業まで練習に参加します。これも羽生田小学校の伝統です。次年度の素晴らしい演奏に御期待ください。

かわいい埴輪完成

(12/14)

11月に5・6年生が作った埴輪を野焼きしました。野焼きは校庭の東で行われ、始めに埴輪全体を暖めて(約1時間)から本焼き(30分程度)になりました。1時間30分位で焼き上がったのには驚きました。とても子どもらしいかわいい埴輪ができあがりしました。歴史民俗資料館の君島先生と埴輪の会の方と杉山恵一様にお世話になりました。また、火の番をしながら、勾玉づくりも行いました。

素敵な勾玉を作り、羽生田地域の埴輪師の雰囲気にも触れることができた有意義な時間となりました。



<熱い埴輪>

薬物乱用防止教育(12/18)

5・6年生を対象に、薬物乱用防止教育を行いました。栃木県警の「きらきら号」にお越しいただき、薬物の怖い様子を説明していただきました。「一度でもやるとやめられない。脳は破壊される。持っているだけでも犯罪になってしまう。」ので、「だめ、絶対だめ」と言う勇気をもとうということを確認しました。保護者の方も参加してくださり、最後には、全員で「薬物乱用、だめ、絶対だめ!」と誓いました。

